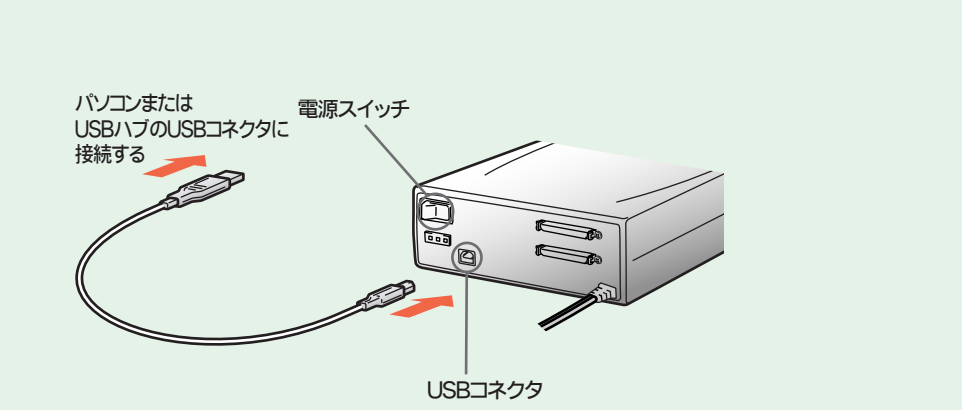
Macintoshをお使いの方へ

次の手順で取り付けてください。

付属のユーティリティCDでMacCDRをインストールします。

※USBで接続するときは、ユーティリティCDで「MacCDR」と「USBドライバ」をインストールしてください。
SCSIで接続するときは「MacCDR」インストール中に「Aplix CD-ROM機能拡張を機能拡張フォルダにインストールしますか？」と表示されたら、［はい］をクリックしてください。
【「MacCDRクイックスタートガイド」参照】

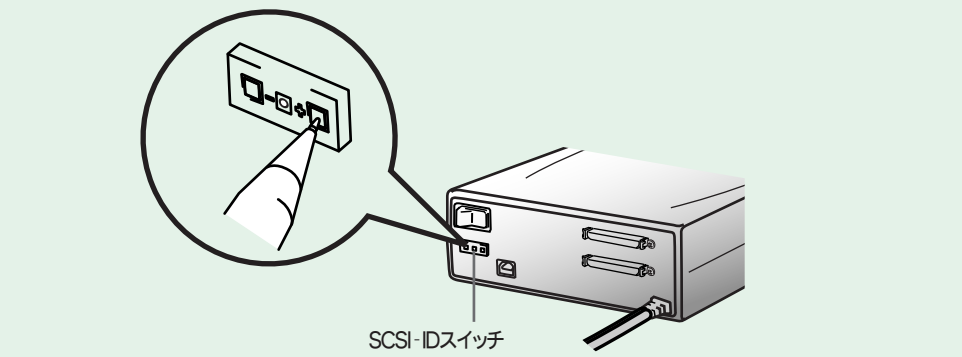
USB／SCSIケーブルを接続します。

● USBケーブルを接続する場合

● SCSIケーブルを接続する場合

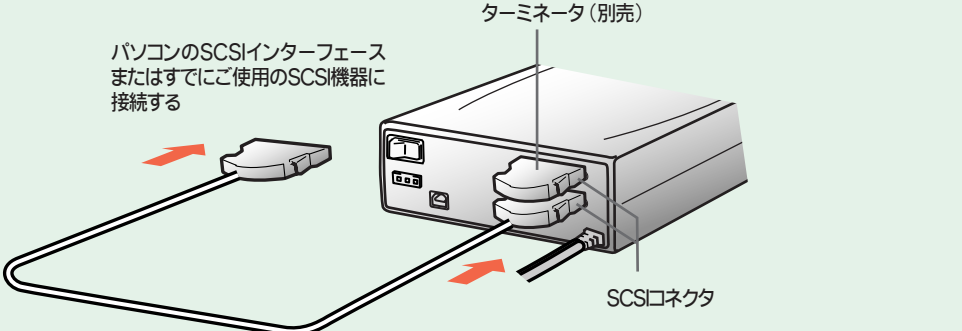
SCSIを接続するときは、必ずパソコンの電源スイッチをOFFにしてください。

1. 本製品のSCSI-IDを設定します

SCSI-ID設定スイッチをボールペンの先などで押して設定します。

- 芯が折れたり、砕けた芯の粉末が発生する鉛筆などは使用しないでください。
- SCSI-IDとは、パソコンにSCSI機器を識別させるための割り当てる番号のことです。
- SCSI-IDは0〜6の範囲で設定してください。7は通常SCSIインターフェースが使用します。0から順に0、1、2、3...と連続して設定することをおすすめします。
- 複数のSCSI機器を併用するときは、SCSI-IDが他のSCSI機器と重複しないように変更してください。
- SCSI-IDは出荷時設定［4］に設定されています。

2. SCSIケーブルを接続します。

2つあるSCSIコネクタのうち、どちらのコネクタに接続してもかまいません。

- 本製品1台だけを接続するときは、本製品にターミネータ（別売）を必ず取り付けてください。
- 複数のSCSI機器を接続するときは、終端のSCSI機器にターミネータ（別売）を必ず取り付けてください。

3. 周辺機器（本製品を含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにし、MacOSを起動します。

MacCDRを起動します。

仕　様

最新の情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）をご参照ください。

● CD-R／RWメディアに書き込み可能

本製品は、CD-RWメディアとCD-Rメディアにデータを書き込めます。転送速度は次のとおりです。

- CD-R書き込み時：最大7200KB／sec（最大48倍速）（*1）
- CD-RW書き込み時：最大3600KB／sec（最大24倍速）（*1、2）
- 読み出し時：最大7200KB／sec（最大48倍速）（*1）

*1 USB1.1で接続した場合、最大約8倍速となります。SCSIで接続した場合でも、お使いのパソコンによっては上記の最大転送速度で書き込み／読み出しできない場合があります。
*2 CD-RWメディアに8倍速以上の速度で書き込みをするためには、High Speed対応のCD-RWメディアが必要です。
CD-RWメディアに16倍速以上の速度で書き込みをするためには、Ultra Speed対応のCD-RWメディアが必要です。

● バッファアンダーランエラー（書き込みエラー）防止機能を搭載

CD-R／RWメディアへの書き込み中に他のアプリケーションで作業をしても、バッファアンダーランエラー（書き込みエラー）が発生しません。

● 書き込み動作確認メディア

弊社で書き込み動作を確認したCD-R／RWメディアは次のとおりです。

- CD-RWメディア：RICOH、三菱化学、日立マクセル
- CD-RWメディア（High Speed対応）：RICOH、三菱化学
- CD-RWメディア（Ultra Speed対応）：三菱化学
- CD-Rメディア：太陽誘電、ソニー、日立マクセル、三菱化学、TDK

*メディアによって最大書き込み速度は異なります。メディアのパッケージに記載してある書き込み速度に従ってください。

● 多彩なフォーマット形式をサポート

次のメディアのフォーマット形式をサポートしています。

メディアのフォーマット形式	読み出し	書き込み	
		WinCDR Lite	MacCDR
音楽CD（CD-DA）	○（*1）	○	○
CD TEXT（*2）	○（*1）	○	○
CD-ROM（Model1）	○	○	○
Video CD	○（*3）	○（*4）	○
CD Extra	○（*1）	○（*4）	○
Mixed Mode CD	○	○（*4）	○
HFS	○（*5）	−	○
ハイブリッドCD	○	○（*4）	○

○：サポートする
−：サポートしない

*1 デジタル再生に対応したプレーヤー（Microsoft Windows Media Player 7以降など）で再生してください。デジタル再生できないパソコンでは、内蔵のCD-DVDドライブを使用して音楽CDを再生してください。
*2 パソコンで再生する場合は、再生ソフトウェアがCD TEXTに対応している必要があります。オーディオ機器で再生する場合は、オーディオ機器がCD TEXTに対応している必要があります。
*3 別途再生ソフトが必要です。
*4CDバックアップ機能にて書き込み可能です。
*5 Macintoshのみ対応

● USB接続時の登録デバイス名

セットアップが完了すると次のデバイス名がWindows（デバイスマネージャ）に登録されます。

WindowsXP／2000 ：USB-IDE Bridge Adapter、本製品のユニットドライブ名
WindowsMe／98SE／98：USB-IDE Mass Storage Controller、USB-IDE Bridge Adapter、本製品のユニットドライブ名

● 動作環境

温度：5〜35℃　湿度：20〜80％（結露なきこと）

●最大消費電力

23W以下

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■ 使用している表示と絵表示の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味　△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

強制：本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止：本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止：AC100V（50／60Hz）以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制：電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止：電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。
- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制：電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする危険があります。

強制：小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制：濡れた手で本製品に触れないでください。
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く：煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止：風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く：本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く：本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止：レーザー光線を直視しないでください。
トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光線が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

強制：静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

⚠ 注意

強制：パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

禁止：次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ　→故障の原因となります。
- 振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ　→故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ　→故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ　→故障や感電の原因となります。

強制：本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制：各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。
故障の原因となります。

禁止：本製品の上に物を置かないでください。
傷がついたり、故障の原因となります。

注意：メディアは次の点に注意して大切にお使いください。
- 直射日光を当てないでください。
- シンナーやベンジン等の有機溶剤を使ってお手入れをしないでください。
汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側へ向って軽く拭き取ってください。
- 表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
- 高温、多湿になる場所や、ほこりの多い場所に置かないでください。
- 表面に手を触れないでください。
両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。
- 持ち運ぶときは、必ずプラスチックケースに入れて大切に取り扱ってください。

禁止：ひびわれや変形、補修したメディアは使用しないでください。
本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

禁止：メディアの反射層が剥離する原因となりますので、次のことは行わないでください。
- 表面（レーベル面）に傷を付けないでください。
- メディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。
- シールやラベルなどを貼らないでください。

禁止：本製品にメディアを入れたまま移動させないでください。
本製品の動作中または、メディアを本製品に入れた状態で移動しないでください。
メディア、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずメディアを取り出し、電源をOFFにしてから行ってください。

禁止：通気口やファンをふさいだり、他の機器と密着させないでください。
故障の原因となります。

強制：定期的にレンズのクリーニングを行ってください。
本製品内部のレンズ等に、ほこりやたばこの煙等が付着し、メディアの再生が正常にできなくなったり、書き込みができなくなることがあります。　市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

禁止：シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止：本製品へのアクセス中は、本製品からUSB／SCSIケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンを再起動しないでください。
データが消失、破損する恐れがあります。

強制：本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

WinCDR Lite、MaCDRのサポートについて

本ドライブに添付している上記ソフトウェアには、インターネットを利用したセルフサポートが提供されています。電話／FAXサポートをご利用いただくことはできませんのでご注意ください。

【セルフサポート】
確認されているトラブルに関する情報や解決方法、その他の最新情報がデータベースに登録されています。お客様は、無償で、セルフサポートを利用することができます。インターネットから、下記アドレスにアクセスしてご利用ください。
また、製品をアップグレードすると、電話／FAXサポートもご利用いただけます。
アップグレードサービスは製品により異なりますので、下記アドレスにて併せてご確認ください。

インターネット　http://www.aplix.co.jp/cdr/

※株式会社メルコでは、WinCDR Lite、MacCDRに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット
製品情報　http://www.melcoinc.co.jp/
サポート情報　melinf.jp

製品サポート
インフォメーションセンター
〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ　ハイテクセタ―内
本製品のサポートは下記で承っております。

<東　京>　03-5326-3753
月〜金　9:30〜19:00
土　9:30〜12:00／13:00〜17:00

<名古屋>　052-619-1188
月〜金　9:30〜17:00　※祝日を除く

※ 事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）

※ 受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は弊社ホームページでご確認ください。

■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページにてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先［氏名／住所／電話番号（内線）／FAX番号］
② 平日昼間の連絡先
［氏名／住所／電話番号（内線）／FAX番号］
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状／エラーメッセージ
⑦ 発生状況［始めから／ある日突然／環境を変えたら］
⑧ 発生頻度［必ず／頻繁／時々／時間が経つと、他］
⑨ コンピュータ［本体メーカ名／型番／シリアルナンバー］
⑩ ハードディスク［メーカ名／型番／シリアルナンバー］
⑪ ディスプレイ［メーカ名／型番／シリアルナンバー］
⑫ その他周辺機器［メーカ名／型番／シリアルナンバー］
⑬ OS（オペレーティング・システム）
［ソフト名／メーカ名／バージョン］
⑭ 製品以外の添付品［付属ソフトなど］

製品送付先	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ　修理センター宛
電話番号	052-619-1289

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンターへお願いします。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断り致します。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任を負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

はじめにお読みください
2002年9月10日 初版発行
発行　株式会社メルコ
PY00-28103-DM10-01　1-01